

平成30年9月末の少年非行等の状況について

1 非行少年の状況

	総数	刑法犯			特別法犯			ぐ犯年 少年
		小計	犯罪少年	触法少年	小計	犯罪少年	触法少年	
30年	845	741	483	258	104	99	5	0
29年	954	852	531	321	101	93	8	1
増減	-109	-111	-48	-63	3	6	-3	-1

◆前年同期と比べ109人(11.4%)減少している。

刑法犯罪種別							
	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
30年	741	5	88	483	12	23	130
29年	852	11	94	545	8	24	170
増減	-111	-6	-6	-62	4	-1	-40

◆前年同期と比べ111人(13.0%)減少しており、特に窃盗犯が大きく減少している。

◆刑法犯全体に占める窃盗犯の割合が大きく、全体の65.2%を占めている。

◆窃盗犯の手口は「万引き」が最も多く、窃盗犯の71.6%を占めている。

特別法犯種別								
	総数	軽犯罪法	児童買春・ポルノ	育成条例	風営法	売春防止法	不正アクセス禁止法	その他
30年	104	11	36	9	4	5	0	39
29年	101	11	28	9	1	10	2	40
増減	3	0	8	0	3	-5	-2	-1

◆前年同期と比べ3人増加しており、児童買春・児童ポルノ禁止法が36人と全体の34.6%を占めている。

不良行為種別							
	総数	深夜はいかい	喫煙	飲酒	不健全娯楽	粗暴行為	その他
30年	11,822	3,791	3,266	1,383	1,355	970	1,057
29年	13,229	4,386	3,526	1,518	1,703	1,067	1,029
増減	-1,407	-595	-260	-135	-348	-97	28

◆前年同期と比較して1407人(10.6%)減少している。

◆深夜はいかいが最も多く、全体の32.1%を占めている。

2 薬物乱用少年の状況

	総数	大麻法	覚取法	毒劇法
30年	8	6	2	0
29年	3	2	1	0
増減	5	4	1	0

◆前年同期と比べ、5人増加している。

◆学識別の内訳は、中学生が1人、有職少年が4人、無職少年が3人。

3 福祉犯の被害状況

	総数	児福法	売春防止法	風営法	児童買春・ポルノ法	育成条例	その他
30年	162	2	1	2	94	52	11
29年	156	13	2	8	73	52	8
増減	6	-11	-1	-6	21	0	3

◆前年同期と比べ6人増加しており、児童買春・児童ポルノ禁止法が21人と大幅に増加している。

◆児童買春・児童ポルノ禁止法が94人と最も多く、全体の58.0%を占めている。

◆SNS等の利用を起因とした被害少年は77人で、全体の47.5%を占めている。

学識別									
	総数	未就学	児童・学生・生徒					有職少年	無職少年
			小学生	中学生	高校生	その他			
30年	162	1	141	38	25	74	4	9	11
29年	156	2	128	9	42	76	1	13	13
増減	6	-1	13	29	-17	-2	3	-4	-2

◆被害少年のうち、高校生は74人で、全体の45.7%を占めている。

※ 北海道警察の統計資料を基に作成(平成30年の数字は暫定値)